

2025 大阪・関西万博
未来社会ショーケース事業
フューチャーライフ万博
「フューチャーライフエクスペリエンス」



もしも認知症になったら

If you get DEMENTIA - dementia that brings happiness and shines people's lives -

しあわせを呼ぶ 認知症



2025年大阪・関西万博『未来社会ショーケース事業』に参加しました

■参加期間：2025年7月8日（火）～2025年7月14日（月）

■会場：大阪 夢洲 フューチャーライフヴィレッジ

しあわせ
を呼ぶ
認知症

もしも
認知症
になったら

大阪大学
NEC Beyond5G 協働研究所
日本モンテッソーリケア協会
共同体

オフィシャルサイト



<https://www.mocajapan.com/happy-dementia>



2025年大阪・関西万博『未来社会ショーケース事業』に参加しました

大阪大学・NEC Beyond 5G協働研究所・日本モンテッソーリアケア協会 共同体（大阪府吹田市 大阪大学教授 木多道宏）は、大阪の夢洲にて開催された「2025年日本国際博覧会」（大阪・関西万博）において、「未来の暮らし」をテーマにした未来社会ショーケース事業フューチャーライフ万博「フューチャーライフエクスペリエンス」に参加いたしました。

テーマ：「もしも認知症になったら ～しあわせを呼ぶ認知症～」

2040年、高齢者の3人に1人が認知症になる時代。

もし、あなた自身や大切な人が認知症になったらどうしますか？

実際の介護施設で行われている心に寄り添うモンテッソーリアケアのアプローチとデジタル技術による心の状態予測を紹介しします。

認知症の方の心に触れていただく体験を通じて、認知症ケアの未来像を「いのち輝く未来の木」に託してみませんか？この大阪・関西万博から世界に向けていのち輝く未来を発信しましょう！

展示プログラム

1. 認知症を知る

Understanding Dementia

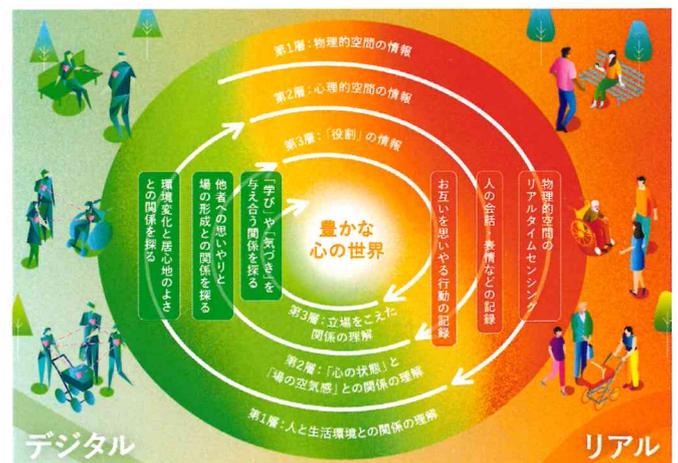


認知症を知る
動画

あなたにとって認知症とはどのようなイメージでしょうか。

豊かな心の世界に向かうために、認知症の方の心の中を知って認知症への理解を深めていただきます。

展示の動画は、大阪大学 木多道宏教授による豊かな心の世界に向かう話と、認知症に対する認知～認知症の方の心の中は…～と題したアニメーションです。



「豊かな心の世界」イメージ

心に寄り添う

2. モンテッソーリケア

Close to the Heart
Montessori Care

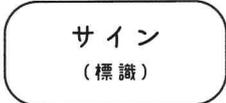
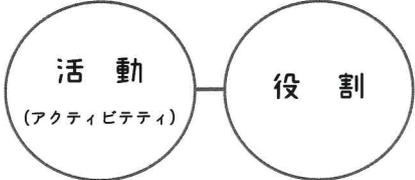


できることは自分でできる、自分らしい生き生きとした毎日を過ごす。
そんな高齢者の尊厳を大切に、寄り添っていくモンテッソーリケア。
モンテッソーリケアの基本や柴原モカメゾンで日々行われているアクティビティ・役割・サインなどについて
紹介します。認知症の方も柴原モカメゾンで自分らしく穏やかに暮らしている様子を動画でもお伝えします。



モンテッソーリケアで目指すこと

一人ひとりが可能な限り自律し、
コミュニティの中で「役割」があることで
自分の存在意義を見つけ、自己肯定感を持ち、
関心のある「活動」や自分で選択する機会を得て、
意味のある貢献ができ、幸せに過ごすことです。



モンテッソーリケアとは

モンテッソーリ教育はイタリアの医学博士である
マリア・モンテッソーリの考案した教育理論です。
日本でも永年に渡り「子供の主体性や尊厳を尊重する幼児教育」
として認知され、最近も改めて注目度が高まっています。
そのモンテッソーリ教育を高齢者や認知症介護に取り入れた
ものが、「モンテッソーリケア」です。
できることは自分でできる、自分らしい生き生きとした毎日を過ごす。
そんな高齢者の尊厳を大切に、寄り添っていく未来の介護のあり方です。



マリア・モンテッソーリ
Maria Montessori

認知症介護を支える 3. デジタル技術

Digital Technologies
Supporting Dementia Care



私たちは「しあわせを呼ぶ認知症介護」を支えるデジタル技術の開発に取り組んでいます。
その技術は、空間で起きている様々なことをデジタルで再現して分析や予測を行う「デジタルツイン」という技術です。
柴原モカメゾンにおいて、環境センサーやインソールセンサーなどからデジタルツインによって様々なデータを取得し総合的に判断して、こころの状態を推定。少し先の行動を予測することで介護現場に多くのしあわせを作り出すことを目指したデジタルモカメゾンの様子をご紹介します。

私たちは、
“しあわせを呼ぶ認知症介護”を支える
「デジタルツイン」の
開発に取り組んでいます。

We are working on developing a "Digital twin" that will support "dementia care that brings happiness."

デジタルツインによって
言葉・行動・表情の変化と心の状態を確認

Digital MoCA Maison > With a digital twin, you can see changes in words, actions, facial expressions, and mental state.

柴原モカメゾン
Shibahara MoCa Maison

デジタルツイン
Digital MoCa Maison

デジタルツインによって
エアコンの誤操作による、急激な室温の上昇や低下を検知できます。
室内環境や夜間の状況を離れた場所から確認することができます。
The digital twin can detect sudden increases or decreases in room temperature caused by incorrect operation of the air conditioner. In addition, the indoor environment and nighttime conditions can be checked remotely.

来場者との会話の中では、簡単にそしてすぐに使えること、電源やネットワークを心配せずに利用できること、プライバシーへの配慮、設置する環境になじませる工夫が必須であることなどについても再認識することができました。



しあわせを呼ぶ

4. 認知症ケアの未来

Future of dementia care that brings happiness and shines people's lives

～高齢者の3人に1人が認知症になる社会で、私にできること～

みんなの分も
お願いできますか？



ご近所や公園

認知症の方との適切な距離感を保ちつつ、笑顔で声をかけ合える。ICTも活用し、認知症を地域で温かく見守るまちづくりを目指します。



良いお天気ですね、
どちらまで？

私たちにもきっと
何かできること
があるはず！



介護施設

認知症の方も普段自分
でできることを積極的に
に行い、ケアワーカー
らと協働することで、お
互いにしあわせな人間
関係を築いています。



学校や 課外活動

自身や友だちの家族、
ご近所さんなど、認知
症の方とのコミュニ
ケーションを想像し
学校や地域の仲間と
一緒に学びや気づきを
深めます。

佐倉さん、
何かお困
りですか？



タクシーや 公共交通機関

地域のタクシーや公共交通機関は、
認知症の方も安心安全に外出でき
るよう、見守り役を担います。

何かお手伝い
しましょうか？



スーパーやコンビニ

商店街やスーパー、コンビニなど、認知症の方
も暮らしに必要な買い物を安心して行えるよう、
地域や事業者が協力してサポートします。

CARE & WORK



介護と仕事を
両立できる仕
組みが大切！

働く環境

認知症介護を支える雇用制度や法
律が充実し、家族が認知症になっ
ても、安心して介護と仕事を両立
できる職場環境が整っています。

5. いのち輝く未来の木

Tree of Life Shining Future

～高齢者の3人に1人が認知症になる社会で、私にできること～



認知症がもっと身近になる未来
あなたは、何をしたいですか？

What actions would you take to shape a future
where dementia is more integrated into our daily lives and communities?



認知症の方々と共に暮らす
未来社会を実現するために
あなたができること・やりたいことを
教えてください！

みなさんが思い描いた未来像を
「いのち輝く未来の木」へ託し
大阪・関西万博から世界に向けて
私たちと一緒に発信しましょう！

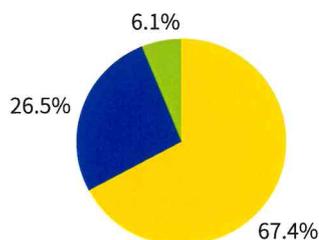
大阪・関西万博 未来の木に託された914の想い

「いのち輝く未来の木」に託された想い

来場いただいた方々に、認知症の方々と共に暮らす未来社会を実現するためにできること・やりたいことや、未来像について葉っぱシートに書いていただきました。最終的に914ものコメントをいただき、あらかじめ用意していた木が思いを載せた葉っぱでいっぱいになり、展示会場全体が埋め尽くされるほどの成果が得られました。

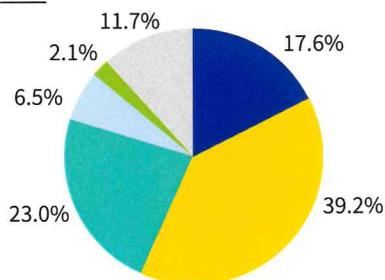


性別



女性
男性
未記入

年齢別



10~39歳 (若年層)
40~59歳 (中年層)
60~69歳 (前期高齢層)
70~79歳 (後期高齢層)
80歳以上 (超高齢層)
未記入

914のコメントの内容を分析すると、図のAからFに示すように大きく6つに分類することができました。

「A. 展示から得た気づきや学び」では、心に寄り添い、その人らしさや役割を尊重するモンテッソーリアケアの考え方に共感する意見や、遠隔で見守りができたり、心と体の状態がわかるデジタルツイン技術に対する大きな期待を寄せていただきました。

「B. 今から行動すること」として、今回得た学びをもとに、ケアや地域のあり方を変えていきたいとの強い意志や、自分のみならず身の回りの家族や知人も同様に自分らしく生きられるような配慮をしたいとの思いも伝えていただきました。また、医療関係者や介護士など専門の方々に、学びを仕事に役立てたいと言っていたことは、私たちの展示が看護・介護の現場に直接貢献するものであることを確認する貴重な機会となりました。

「C. ありたい未来社会」については、認知症への理解が浸透し、多様な人々が安心して暮らせる社会、多様な人々が安心して暮らせる社会、多様な人々が

それぞれの役割を持ち、自分らしく暮らせる社会、認知症の人々や家族にとって安心できる制度や仕組みの実現などの提案をいただきました。

また、「D. 自分自身や家族・知人が認知症になったら望むこと」については、穏やかで自分らしくいたい、触れ合いを大切にしたいという思いのほか、認知症の人への感謝の気持ちや思い出を大切にしたいといったコメントを書けていただきました。

「E. 期待する科学技術」では、新しい薬や医療技術のほか、見守り、会話、認知症の診断などに有効なICTやAI技術の進歩にも期待が寄せられました。これらの科学技術を生かすための人や社会の力が大切であるとの意見もいただきました。

以上のように、来場者の多くの方々が今回の展示を通して認知症を受けとめ、自身の行動や社会のイメージを前向きに捉えていただいたことや、「新しい認知症観」の醸成の可能性を実感することができました。

未来のイメージ



葉っぱシートにいただいたコメントのまとめ

(図中の数字はコメントの数を示す。ただし、一つのコメントの内容が複数の分類にまたがる場合には、該当する全ての分類にカウントする)

「新しい認知症観」の追求とその普及に向けて

F. 課題のコメントにもあるように、日々の暮らしの中で、認知症への不安や介護の厳しさを感じている方が多くおられると思います。一方で、来場者から、認知症に対する不安がなくなり希望を持つことができたとの感想をいただくとともに、私たちのケアの普及に大きな期待の声を寄せていただきました。モンテッソーリケアとデジタルツインによる介護は、認知症の方・家族・地域の人々・施設関係者・技術者が「場づくり」によるひとつながりのチームとなり、認知症の方が生き生きとし穏やかとなることで、介護の負担が大きく軽減されるものです。このような助けられる側・助ける側の立場をこえた「場づくり」は、皆が気づきや学びを得て、お互いの心を成長させるものでもあるのです。ICTやAIは、単に介護作業を便利にするものではなく、「場づくり」のプロセスを経て、チームやコミュニティに物語を生み出すものでなければなりません。

私たちはこれを社会に広げるために、他の介護施設や企業のコンサルティングと人材育成を積極的に進めるとともに、国・自治体と連携し、真に心を豊かにするケアの評価方法や、これに対応する補助金制度などの抜本的な改革に向けた活動を強化します。

また、私たちは柴原モカメゾンリビングラボとして持続させながら、モンテッソーリケア国際資格取得セミナー、哲学カフェ、「もかの会」（日本モンテッソーリケア協会が毎月オンラインで開催）、講演会などをさらに広く社会に開き、認知症の分野をこえて、**お互いを尊重し、ともに成長するケアが、私たちの日々の暮らしを豊かにする基本的な考え方**であることを、皆様とともに実感していきたいと思います。

「場」とは、ある空間や環境を良くしたいと思う人々が、お互いの立場や意見を尊重し、人のつながりや共に支え合うことの大切さに共感し合う時に空間に生まれる価値観であり、それを将来にわたり発展させようとする働きのことを指します。葉っぱシートに寄せていただいたコメントから、たとえつらいことがあったとしても、認知症を受け入れ、前向きになにか大切なことを見出そうとする人々の想いが共感し合うことで、「未来の輝く木」が「場」そのものになっていることに気がつくしました。

このように、皆様から「未来の輝く木」へ託された想いを「新しい認知症観（しあわせを呼ぶ認知症）」とし、これに賛同し未来と一緒に創っていただける方々のネットワークを広げながら、ともに活動を推進して参ります。引き続きご支援の程、よろしくお願い致します。



©Expo 2025

〒560-0055 大阪府豊中市柴原町3-11-14
<https://www.montessoricarejapan.com>
E-mail: info@mocajapan.com



一般社団法人日本モンテッソーリケア協会

